

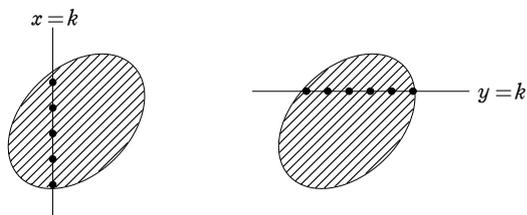
## 格子点の個数

座標平面上で、点  $(x, y)$  を考える。ここで、 $x, y$  を 0 以上の整数、 $n$  を自然数とする。このとき、以下の個数を  $n$  で表せ。

- (1)  $x + y \leq n$  を満たす点  $(x, y)$  の個数。
- (2)  $\frac{x}{2} + y \leq n$  を満たす点  $(x, y)$  の個数。
- (3)  $x + \sqrt{y} \leq n$  を満たす点  $(x, y)$  の個数。

< '14 中央大 >

【戦略】



題意の領域を  $x = k$  で切ったとき、 $x = k$  上に  $a_k$  個の格子点があれば

$$\sum_{k=0}^n a_k$$

というように全て  $\Sigma$  で足し合わせれば格子点の個数の総数が求まります。

あるいは  $y = k$  という横切りでも同じ要領で求まります。

縦切りか横切りかの選択については当たり前ですが

数えやすい方

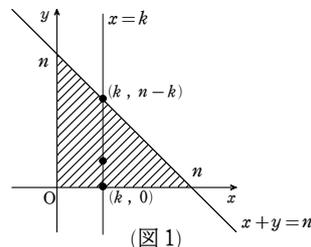
を選択します。

基本的には「格子点から格子点」であれば数えやすいでしょう。

【解答】

- (1)  $\begin{cases} x \geq 0 \\ y \geq 0 \\ x + y \leq n \end{cases}$  を満たす  $(x, y)$  の集合領域を図示すると以下の (図 1)

のようになる。



題意の格子点のうち、 $x = k$  ( $k = 0, 1, \dots, n$ ) 上にあるものは

$$(k, 0), (k, 1), \dots, (k, n - k)$$

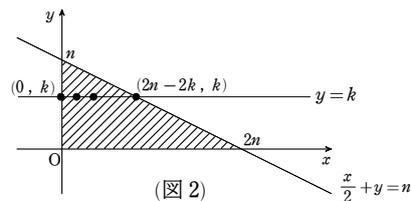
の  $n - k + 1$  個

求める格子点の個数は

$$\begin{aligned} \sum_{k=0}^n (n - k + 1) &= (n + 1) + n + (n - 1) + \dots + 3 + 2 + 1 \\ &= \frac{(n + 1)(n + 2)}{2} \quad \text{【個】} \dots \text{ 罫} \end{aligned}$$

- (2)  $\begin{cases} x \geq 0 \\ y \geq 0 \\ \frac{x}{2} + y \leq n \end{cases}$  を満たす  $(x, y)$  の集合領域を図示すると以下の (図 2)

のようになる。



題意の格子点のうち、 $y = k$  ( $k = 0, 1, \dots, n$ ) 上にあるものは

$$(0, k), (1, k), \dots, (2n - 2k, k)$$

の  $2n - 2k + 1$  個

求める格子点の個数は

$$\begin{aligned} \sum_{k=0}^n (2n - 2k + 1) &= (2n + 1) + (2n - 1) + \dots + 5 + 3 + 1 \\ &= \sum_{m=1}^{n+1} (2m - 1) \\ &= 2 \cdot \frac{(n + 1)(n + 2)}{2} - (n + 1) \\ &= (n + 1)^2 \quad \text{【個】} \dots \text{ 罫} \end{aligned}$$

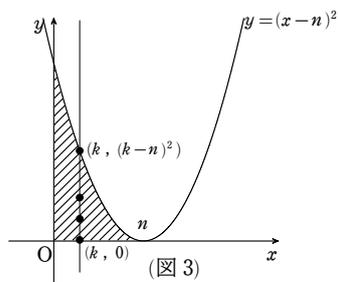
(3)  $x \geq 0, y \geq 0$  において  $x + \sqrt{y} \leq n$  を満たす  $(x, y)$  は

$$\sqrt{y} \leq n - x \cdots \textcircled{1}, \text{ すなわち } y \leq (x - n)^2 \text{ を満たしている。}$$

また、 $\textcircled{1}$  を満たす  $y$  が存在するためには  $x \leq n$  であることが必要。

以上に注意して、
$$\begin{cases} x \geq 0 \\ y \geq 0 \\ x + \sqrt{y} \leq n \end{cases}$$
 を満たす  $(x, y)$  の集合領域を図示

すると以下の (図3) のようになる。



題意の格子点のうち、 $x = k$  ( $k = 0, 1, 2, \dots, n$ ) 上にあるものは

$$(k, 0), (k, 1), \dots, (k, (k - n)^2)$$

の  $(k - n)^2 + 1 (= (n - k)^2 + 1)$  個

求める格子点の個数は

$$\begin{aligned} \sum_{k=0}^n \{ (n - k)^2 + 1 \} &= \sum_{k=0}^n (n - k)^2 + \sum_{k=0}^n 1 \\ &= \{ n^2 + (n - 1)^2 + \dots + 1^2 + 0^2 \} + (n + 1) \\ &= \frac{n(n + 1)(2n + 1)}{6} + (n + 1) \\ &= (n + 1) \left\{ \frac{n(2n + 1)}{6} + 1 \right\} \\ &= \frac{(n + 1)(2n^2 + n + 6)}{6} \quad \text{【個】} \dots \text{答} \end{aligned}$$

【総括】

「The 例題」といった基本的な格子点の数え上げ問題です。

格子点を数え上げる流れと、その後の  $\Sigma$  計算の処理についてしっかりと

確認しましょう。